

## 磐城国道事務所における主要事業のポイント

(「◎」印は平成19年度中の完成・供用箇所)

### 強い東北の創造

◎相馬市街地の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を図る一般国道6号相馬バイパス (相馬市～新地町) は、平成19年度の全線完成(一部暫定2車線)を目指して、バイパス起点終点部の舗装工事、駒ヶ嶺高架橋(仮称)工事を完成させます。

(P4別紙-1)

○一般国道49号三和トンネル事業 (いわき市) は、老朽化及び狭隘トンネルの解消として別線ルート(L=1.7km)の用地買収を促進するとともに、一部工事用道路の工事及びトンネル本体工事に着手します。

(P5別紙-2)

○一般国道6号久之浜バイパス (いわき市) は、早期完成を目指し、引き続き四倉漁港前～県道白岩久之浜線間(L=3.7km)の設計及び用地買収を推進するとともに、一部工事用道路の工事に着手します。

(P6別紙-3)

### 安全で安心できる地域づくり

○橋梁の大規模地震での災害を防止するため、平成17年度から平成19年度までの3箇年で全41橋の耐震補強を実施します。

平成19年度は新たに菅波大橋に着手するとともに、鮫川大橋他4橋の橋梁耐震補強工事を推進します。(合計6橋：いわき地区3橋、相双地区3橋)

(P7別紙-4)

○あんしん歩行エリア『いわき平』地区では、交通混雑及び交通事故が多発している一般国道6号平鎌田交差点の交差点改良事業を推進します。

○『いわき内郷』地区では、一般国道6号内郷綴町の歩道未整備区間の整備を推進し、さらに交通混雑及び交通事故が多発している一ノ坪交差点の交差点改良事業を推進します。

○通学児童の安全や交通事故の防止を図るため、歩道未整備区間である一般国道6号榎葉町井出地区の歩道整備を推進します。

(P8別紙-5)

### 魅力ある都市づくり

○重要港湾小名浜港のアクセスとして機能する一般国道国道6号常磐バイパスのうち、交通混雑が著しい中迎交差点の渋滞緩和に向け鮫川大橋の4車線化工事に着手します。

(P9別紙-6)

○一般国道49号平バイパス（いわき市）は、番匠地交差点～好間町中好間区間（約1.8km）の渋滞解消に向け、内郷高架橋など4車線化工事を推進します。

このうち、内郷御台境町～好間町中好間（内郷高架橋の郡山側）の約0.9kmについては、平成20年度の供用を目指して工事を推進します。（P10別紙一7）

○交差点部での交通混雑が著しく、また交通事故が多発している一般国道6号高見町交差点（南相馬市原町区）、御城前交差点（いわき市勿来町）の主要渋滞ポイントについて交差点改良事業を推進します。

また一般国道6号北千倉交差点（南相馬市鹿島区）の交差点改良事業を完成させます。（P11別紙一8）

### 美しい東北の実現

○都市防災機能及び都市景観の向上、さらには安全で快適な歩行空間を確保するため、電線類の地中化事業として、一般国道6号いわき市平長橋地区の電線共同溝工事を促進するとともに、一般国道6号いわき市内郷御台境地区の電線共同溝工事に着手します。

◎浜通り地方に不足する道路休憩施設や情報発信基地の整備として、南相馬市と一体となって、道の駅「はらまち（仮称）」（南相馬市原町区）の整備を完成させます。

○福島県「浜通り地方」の美しく豊かな自然環境と調和のとれた道路環境の保持として、一般国道6号、49号（管理延長192.4km）の保全等を図るための経常的な維持をはじめ、修繕、交通安全施設等整備の事業を継続して実施します。

以上の各事業を進めるにあたっては、「コミュニケーションで育むみちづくり」をスローガンに、浜通りのニーズを把握するための対話を重視し、工事現場見学会の開催など情報の発信に引き続き努めていきます。

また、関係機関との連携の下、ハード・ソフト一体となった施策やコスト縮減への取り組みを一層進めていきます。

# 磐城国道事務所 主要事業位置図



事業名	一般国道6号 <small>そうま</small> 相馬バイパス（直轄）（相馬市～新地町）
-----	---

事業着手：昭和62年度	完成・供用の目標年度：平成19年度全線完成予定（一部暫定2車線）
-------------	----------------------------------

事業の必要性・事業の概要

「事業の必要性」

一般国道6号の相馬市街地区間は、福島県相双地方生活圏で最も渋滞損失時間が大きい区間であるほか、沿道騒音が要請限度を超過しており、早急な対策が必要となっています。さらに常磐自動車道相馬IC（仮）から重要港湾相馬港及び相馬中核工業団地へのアクセス性向上が求められています。

「事業の概要」

相馬バイパスは、一般国道6号相馬市街地の交通混雑の緩和（渋滞ポイントの塚ノ町交差点周辺等）や交差点事故の減少、沿道騒音等の環境改善を図るとともに、常磐自動車道相馬IC（仮称）から重要港湾相馬港及び相馬中核工業団地へのアクセス性向上を目的とした延長9.9kmのバイパス事業です。



▲相馬バイパス全体計画図



▲塚ノ町交差点の渋滞状況



▲（仮）駒ヶ嶺高架橋の工事状況

平成19年度の事業内容

○現国道6号との起点側接続部～相馬市大曲（主要地方道原町海老相馬線）、及び相馬市光陽（国道113号）～現国道6号との終点側接続部の舗装工事、駒ヶ嶺高架橋（仮称）について工事を完成し、平成19年度内に全線供用（一部暫定2車線）します。

事業効果

《整備後の効果》

- 相馬市街地の渋滞緩和や、より安全で信頼性の高い交通網の確保が図られます。
- 相馬市街地の通過時間が短縮されます。（17分→10分 約7分短縮）

事業名	一般国道49号 <small>みわ</small> 三和トンネル（直轄）（いわき市）
-----	--

事業着手：平成16年度	完成・供用の目標年度：平成23年度全線完成予定
-------------	-------------------------

事業の必要性・事業の概要	
--------------	--

本事業は、平成10年に外易航路を開設して以来国際物流拠点として需要が高まる重要港湾「小名浜港」の広域物流支援として、ISO国際規格背高海上コンテナ（9フィート6インチ）の通行に支障がある一般国道49号三和トンネルの改良を行うものです。

現在のトンネルは昭和37年に施工されたトンネルで、老朽化の進行が著しく道路防災上抜本的な対策が必要であるとともに狭隘であり、県内において外易コンテナの生産・消費が最も高い県南・県中地域と小名浜港を結ぶネットワークを強化し効率的な海陸一貫輸送の実現を図るにあたってのネックとなっているため、これらの解消を図るため別線ルートでの改良を行うものです。



▲三和トンネル計画路線



▲大型車のすれ違いが困難な現在のトンネル

平成19年度の事業内容	○平成19年度は用地買収を促進し、終点部の改良工事とトンネル本体工事に着手します。
-------------	---

事業効果	<p>《整備後の効果》</p> <p>○物流の効率化：県南・県中地域と小名浜港を結ぶネットワークが強化され、物流の効率化が図られます。</p>
------	---

事業名	一般国道6号	ひさのはま 久之浜バイパス（直轄）（いわき市）
-----	--------	----------------------------

事業着手：平成元年度

事業の必要性・事業の概要

本事業は、いわき市久ノ浜地区における線形不良区間、狭隘トンネルなどの道路構造上のボトルネックの解消や沿道環境の改善を目的に平成元年度から事業に着手し、平成11年3月に終点側の一部区間を常磐自動車道いわき四倉ICアクセス道路として供用しています。  
引き続き起点側工区の設計及び用地買収等を促進するとともに、一部改良工事に着手し、隘路区間の早期解消に向け事業を進めます。



▲久ノ浜バイパス計画路線

平成19年度の事業内容

○平成19年度は用地買収を促進するとともに、一部改良工事に着手します。

事業効果

《整備後の効果》  
○久ノ浜市街地の渋滞が緩和され、市街地の通過時間が短縮されます。  
○線形不良区間、狭隘トンネル、越波危険区域などのボトルネックが解消され、安全性の向上が図られます。

事業名	たいしんほきょう 橋梁耐震補強事業（直轄）（いわき市～浪江町）
-----	------------------------------------

事業着手：平成19年度	完成・供用の目標年度：平成19年度完成予定
-------------	-----------------------

事業の必要性・事業の概要
--------------

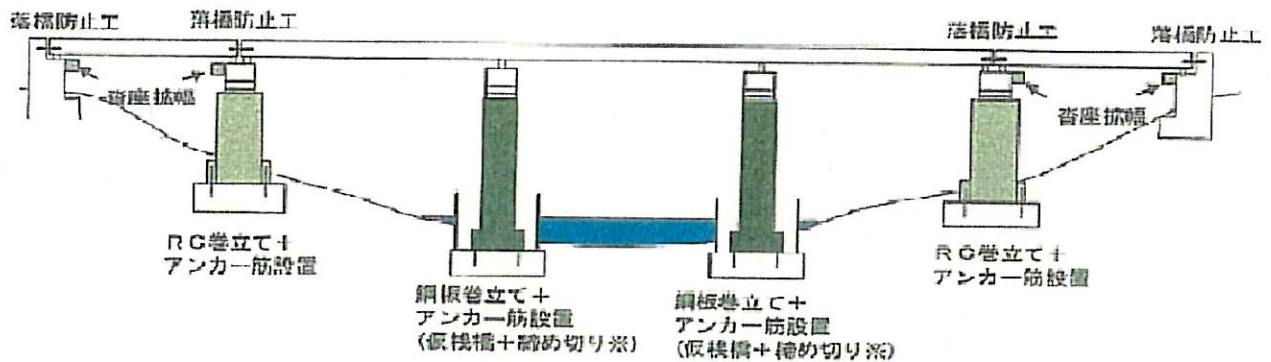
「事業の必要性」

管内の橋梁は、昭和30年～40年代に建設されたものが多く、今後高い確率で発生するとされている宮城県沖地震の太平洋側震源に近接し、地震で被災した場合、緊急輸送路の分断が予想されるとともに、地域の社会・経済活動に大きな支障をきたす恐れがあるため、早急な耐震対応が求められています。

「事業の概要」

耐震補強事業は、地震による落橋を防止する装置の設置、巻立てによる橋脚の補強を行い、橋梁の耐震性の向上を図るものです。

緊急性の高い橋梁について、平成19年度までに対策を完了します。



▲耐震補強イメージ図



▲耐震補強の実施例



▲平成19年度着手する菅波大橋の全景

平成19年度の事業内容
-------------

○平成19年度は、いわき市の「菅波大橋」、すがなみおおはし「鮫川大橋」、さめかわおおはし浪江町の「高瀬川橋」など6橋の耐震補強対策を実施します。たかせがわばし

事業効果
------

《整備後の効果》

○安全・安心の確保：古い設計基準で施工された橋梁の耐震性能が向上し、緊急輸送道路としての機能向上、大規模地震時の安全性及び信頼性が向上します。

事業名	一般国道6号	いでほどろ 井出歩道（直轄）（楢葉町）
-----	--------	------------------------

事業着手：平成18年度

事業の必要性・事業の概要

「事業の概要」

本地区は、楢葉町中心市街地でありながら歩道未設置区間であることから、通学路に指定できず学生児童が通学の際には迂回を強いられている状況です。また現在の通学路はJR常磐線を横断する箇所があるため、非常に危険な状況で歩道ネットワークの安全性確保の観点から歩道整備が求められています。

井出歩道は、楢葉町中心市街地の延長810mの歩道整備を行うものです。平成19年度は、歩道の調査設計を推進します。



▲位置図



▲歩道未整備状況



▲町道取付状況

平成19年度の事業内容

○平成19年度は、歩道の調査設計を推進します。

事業効果

《整備後の効果》

○歩行者等の安全な歩道空間が確保され、新しい歩行者等のネットワークが形成されます。



事業名	一般国道6号 <small>じょうばん</small> 常磐バイパス (直轄) (いわき市)
-----	--

事業着手：昭和41年度
-------------

事業の必要性・事業の概要
--------------

「事業の必要性」

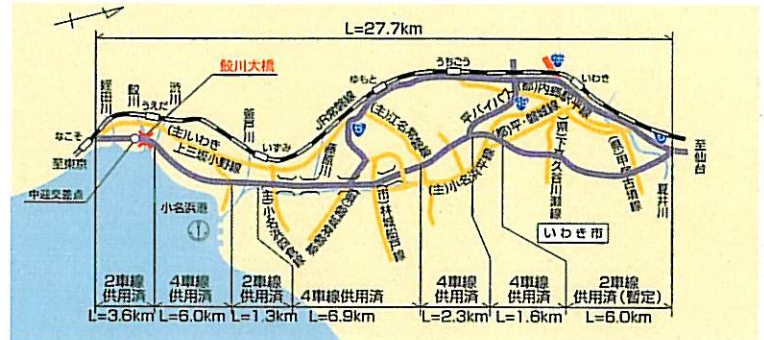
一般国道6号常磐バイパスの交通需要は平成12年の全線暫定供用後も増加し続けており、交通が集中する区間や主要交差点付近等で交通混雑が発生しています。特に外易コンテナ航路開設後、コンテナ貨物取扱量が年々増加している重要港湾「小名浜港」の物流拠点へのアクセス強化に配慮した道路整備、物流の効率化が必要となっています。

「事業の概要」

一般国道6号常磐バイパスは、いわき市内の交通混雑の解消及び主要幹線道路としての機能強化を目的とした、いわき市勿来町四沢～同市平下神谷に至る延長27.7kmの道路です。

平成12年3月には全線暫定供用をし、引き続き渋滞ポイントを中心に交差点立体化及び三沢～上矢田間2.3km(H19.3完)の4車線化工事などを進めてきました。

平成19年度は、常磐バイパスのうち、交通混雑が著しい中迎交差点の渋滞緩和に向け鮫川大橋の4車線化工事に着手します。



▲鮫川大橋状況写真



▲中迎交差点の渋滞状況

平成19年度の事業内容

○いわき市錦町の鮫川大橋について、4車線化工事に着手します。

事業効果

《整備後の効果》

○観光施設へのアクセス向上：いわき勿来IC～小名浜港周辺 17分(現況)→15分(完成後)

事業名	一般国道49号 <sup>たいら</sup> 平バイパス (直轄) (いわき市)
-----	--

事業着手：昭和56年度

事業の概要

「事業の概要」

一般国道49号平バイパスにおける交通需要は、平成7年の全線暫定供用後も年々増加し続けており、交通が集中する区間や主要交差点付近等で交通混雑が発生しています。平バイパスは重要港湾「小名浜港」と常磐自動車道いわき中央ICとを連携するアクセス道路であり、アクセス機能強化に向けた渋滞緩和の解消に着目した整備が必要となっています。

一般国道49号平バイパスは、いわき市の市街地部の交通渋滞・沿道の道路環境など、交通をとりまく環境の改善と主要幹線道路としての機能強化を目的とした、いわき市常磐上矢田～同市好間町に至る延長7.7kmの道路です。

「事業の概要」

平成7年9月に全線暫定供用をし、引き続き混雑区間の4車線化、主要渋滞交差点の立体化等を推進し、一層の機能強化を図ってきました。

平成19年度は平バイパスにおける主要渋滞ポイントの渋滞緩和を含む、いわき市 <sup>うちごうみやまちばんじょうち</sup> 内郷御厩町 (番匠地交差点) ～同市 <sup>よしまちなかよしまむかいやま</sup> 好間町中好間 (向山交差点) 間の4車線化を推進します。



▲番匠地交差点下り線の混雑状況



▲内郷高架橋工事状況

平成19年度の事業内容

○平成19年度は、<sup>みだいさかい</sup> 御台境橋の上部工工事、さらに内郷高架橋の下部工を促進します。

事業効果

《整備後の効果》

○渋滞が解消され、平市街地及び重要港湾小名浜港と常磐自動車道いわき中央IC (好間工業団地) のアクセス機能強化が図られます。

事業名	一般国道6号 <small>きたちくら</small> 北千倉交差点改良（直轄）（南相馬市鹿島区）
-----	---

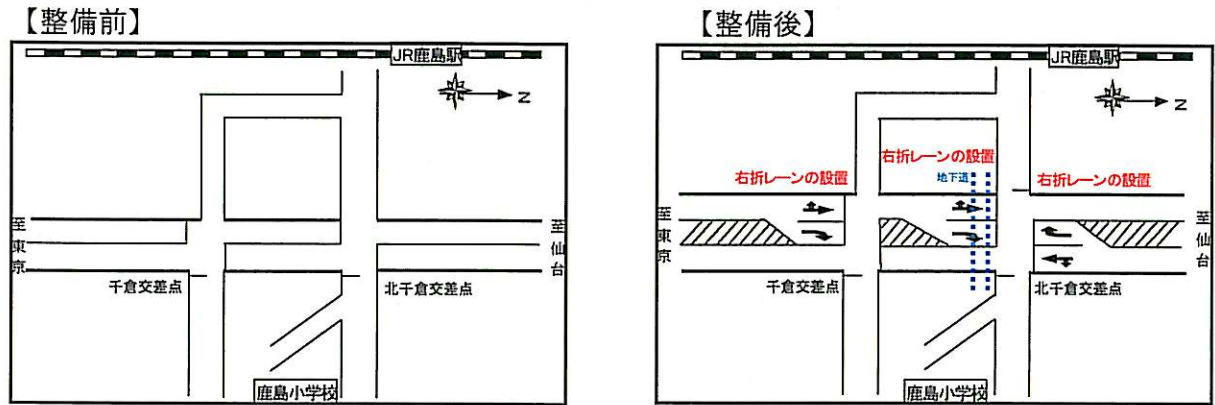
事業着手：平成19年度	完成・供用の目標年度：平成19年度完成予定
-------------	-----------------------

**事業の概要**

鹿島町北千倉交差点は、鹿島駅や役場につながる主要な交差点です。現在は右折レーンが無く、また、JR常磐線の踏切が近いことなどから、渋滞や交通事故が発生しており、地域の方々からこうした問題の早期解消が望まれています。

本事業は、渋滞緩和や交通事故を削減するため、P I型交差点緊急改良事業（★快適交差点★）として、地域の方々の意見を取り入れて整備計画を作成してしてきたもので、併せて地下道の改良を行うものです。

※P I（Public Involvement）／行政施策の立案等に際して、一般の方々にも参加していただき、より民意を反映した施策の実現を図る手法です。



▲交差点改良のイメージ

《地域懇談会の開催》

この交差点改良（右折レーン設置）に伴い、通学児童や通勤者等が利用している『鹿島地下道』の改良がの要望があったことから、地下道設計に際して、利用者の方々や交通管理者、道路管理者などの幅広い意見を反映しました。具体的には「利用者アンケート」、「小学生との共同点検」及び4回の「地域懇談会」を実施しました。



▲地域懇談会の状況



▲鹿島地下道の現況



▲改良後の完成イメージ

**平成19年度の事業内容**

○平成19年度に、交差点改良工事を完成させます。

**事業効果**

- 渋滞が解消するとともに、交差点の安全性が向上し、交通事故が減少します。
- 新たな地下道によって歩行者の安全・安心が確保されます。